

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	37384	
事業名	観光資源発掘・魅力創出費						
評価担当課	所属名	経)観光・MI 観光・MICE					
	課長名	西田	担当者名	新谷	電話番号	211-2376	
施策名	主	魅力あるまちづくりと観光振興の一体的推進					
	副						
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外		戦略ビジョン	● 対象 ○ 対象外			
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費						
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理						
事業内容	実施形態	○ 直営 ○ 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助助成 ● その他					
	目的	短期	歴史観光、夜景観光、夜間観光、体験観光、道産食材等をテーマにした観光資源の発掘、磨き上げをすることにより新たな札幌の魅力を発信する。				
		長期	多様な切り口の新しい観光資源を創出し、積極的に発信することで、地域の魅力あふれるまちづくりと観光振興の一体的な推進を図る。また、観光都市としての魅力を向上させるため、官民共同で夜景観光を推進するとともに、外国人向け「夜観光」の充実を図る。				
	取組内容	①さっぽろ観光魅力創出事業（上限額2,000千円 補助率1/2 補助件数 1件） 夜間観光、体験型観光、道産食材などの札幌市の重点テーマに資する事業等を実施する事業者に対し、補助金を交付 ②夜景観光推進事業 夜景観光推進に係る様々なプロモーション等を実施 ・新三大夜景共同プロモーション事業負担金 ・三大小イルミネーション共同プロモーション事業負担金					
実施結果	①さっぽろ観光魅力創出事業 夜間観光、体験型観光、道産食材などの札幌市の重点テーマに資する事業等を実施する事業者に対し、補助金を交付した。4月に募集を行い、1件を採択(1件申請)。 ②夜景観光推進事業 新三大夜景共同プロモーション事業、三大小イルミネーション共同プロモーション、夜景サミットin札幌の開催などを行い、夜景サミットにて「日本新三大夜景都市」に2015年、2018年に続き再認定。						
事業実施における工夫点	事業実施、補助金交付の決定にあたっては、観光関連団体や専門事業者と連携することにより、民間知見を活用した新たな魅力創出を図った。						
対象者	来札幌観光客、市民、観光関連事業者			開始	0 年度	終了	0 年度
関連法令・条例・要綱等							
他都市の状況	大阪観光局「Osaka Night Out」 夜間における動態調査及びプロモーション等						

◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算	
事業費	10,575	22,000	15,421	76,000	
うち特定財源	0	0	0	0	
人工	0.7	0.7	0.7	0.7	
人件費	5,040	5,040	5,040	5,040	
計(事業費+人件費)	15,615	27,040	20,461	81,040	
事業費の内訳	令和3年度決算	①さっぽろ観光魅力創出事業 2,000千円 1件を採択(1件申請) ②夜景観光推進事業 12,939千円 新三大夜景共同プロモーション、三大小イルミネーション共同プロモーション、夜景サミットの開催など ③その他 482千円			
	令和4年度予算	①夜景観光推進事業 23,000千円 新三大夜景共同プロモーション、三大小イルミネーション共同プロモーションなど ②夜間観光推進事業 52,000千円 札幌商工会議所に負担金を支出し、__華街等新規開店補助事業を実施 ③その他 1,000千円			

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名	国内観光客の平均滞在日数			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
	1.29	1.29	2.1	1.3	
活動指標2	指標名	札幌での夜間観光の満足度			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
	61.3	56	73.6	60	
成果指標1	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
成果指標2	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
項目	判定	理由			
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	各事業を実施する団体との連携、負担金及び補助金の交付を通じて、夜景観光、夜間観光、観光資源の発掘、磨き上げをすることにより新たな札幌の魅力を発信することができた。			
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	国内外問わず急速に進んでいる旅行の個人化・多様化に伴うニーズに対応するためには、様々な切り口の観光資源を創出することが必要であり、より高い事業効果を上げるための事業規模としては適切であると考えます。			
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	各切り口の民間事業者や団体が持つネットワークやノウハウを効果的に活用し、新たな事業を運営しながら民間事業者の育成を図るには、補助金や負担金により現行の事業運営を支援しつつ、段階的に自走を促す手法が適切である。			
対象者の満足度 (対象者のニーズに応えているか)	A	様々な切り口の新たな観光資源を創出することにより、札幌観光の層が厚くなり、多様な観光客ニーズを捉えられるようになり、来札幌観光客の満足度及び集客力の向上に貢献している。			
市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input type="checkbox"/> 対象外		市民参加結果への対応	<input type="checkbox"/> 回答 <input type="checkbox"/> 反映	
今後の改善点	アフターコロナを見据えた事業の継続及び発展に向けて、安定した事業運営と事業効果の効率性を高める方法について、長期的な視点で検討を進める必要がある。				
前回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
今年度取り組んだ見直し内容	なし		見直し効果額 (前年度)	0	千円
今回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
評価の理由	新たな観光資源の創出が図られただけでなく、当該資源を札幌の新たな魅力として広く観光客及び市民へ認知させることができたため。				
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	● 改善 ○ 現状維持 ○ 休止・廃止 札幌ならではの観光資源を活用し、本市の観光振興に一層の効果が期待される事業(ラグジュアリー層、食、夜間、自然、文化、ツーリズムなど)を推進していく。			
	予算	● 拡充 ○ 現状維持 ○ 縮小 ○ その他 札幌ならではの観光資源を活用し、本市の観光振興に一層の効果が期待される事業(ラグジュアリー層、食、夜間、自然、文化、ツーリズムなど)について支援するため、観光庁の同類の補助スキームを参考に		見直し効果額	0